

みどりの駅の屋根断熱材の落下について

首都圏新都市鉄道株式会社（本社：東京都台東区 代表取締役社長：柚木 浩一）では、平成28年6月13日（月）、みどりの駅において、ホームの屋根（鋼板）の裏側に貼り付けてある断熱材（ポリウレタン製）が6箇所で剥がれ、一部がホーム上に落下する事象が発生いたしました。同駅をご利用のお客様には、大変ご心配およびご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

詳細につきましては、下記のとおりです。

記

- 1 発生日時 : 平成28年6月13日（月） 15時30分頃
- 2 発生場所 : みどりの駅（茨城県つくばしみどりの1丁目29番地3）
1番線（下りホーム）
- 3 概 要 : みどりの駅（1番線）のホームの屋根（鋼板）の裏側に貼り付けてある断熱材（ポリウレタン製）が6箇所で剥がれ、その一部がホーム上に落下いたしました。
本事象において、お客様にお怪我等はございませんでした。
また列車運行の遅延等も発生しておりません。

<落下した断熱材の詳細>
 - ・落下物…断熱材4枚
 - ・大きさ…長さ150～200cm・幅10cm・厚さ0.2cm・重さ10g程度
 - ・材 質…ポリウレタン製
- 4 判明の経緯 : 第4035列車（区間快速つくば行き）の担当乗務員が、同駅停車中に当該事象について発見し、同駅の係員が確認いたしました。
- 5 原 因 : 現在調査中ですが、断熱材（ポリウレタン製）を貼り付けていた接着剤が経年とともに劣化したものと思われます。
- 6 対 応 : 当該箇所については、昨日中（6月13日）に点検を行い、取り外しをいたしました。
なお断熱材（ポリウレタン製）は冬季の結露防止等の目的で設置しているものであり、一時的に取り外しても、施設の強度面および使用上には、問題ありません。
- 7 再発防止策 : 同駅を含め、今後、同様の屋根の構造を有する全ての駅のホームについても早急に点検を行ってまいります。

以 上